

**第2次南アルプス市総合計画  
後期基本計画・施策マネジメントシート**

作成日：令和5年 7月18日

更新日：令和5年 9月 8日

政策No.	3	政策名	うるおいと活力のある 快適なまちの形成	施策主管課	商工振興課
施策No.	20	施策名	企業誘致の推進	施策主管課長名	石川 浩
施策関連課名		南アルプスIC新産業拠点整備室			

**1 施策の目的と指標**

(1)対象(誰、何を対象としているのか) ※人や自然資源等	(3)対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
企業	A (RESASによる)市内企業数	社
	B	
	C	
(2)意図(この施策によって対象をどう変えるのか)	(4)成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
市内で新たに創業・規模拡大する	① 誘致・規模拡大した企業数	社
	② 創業した数	件
	③	
	④	
成果指標設定の考え方 (成果指標設定の理由)	① 市内への企業誘致・市内での規模拡大の状況を示す／企業が市内で新たに創業、あるいは市内企業が隣接地の取得などにより規模拡大することが意図であるため、成果指標とした。	
	② 市内での創業の状況を示す／企業が新たに創業することが意図であるため、成果指標とした。	
	③	
	④	
成果指標の測定方法 (どのように実績値を把握するか)	① 1年間に誘致・規模拡大した企業数の合計(工場立地法届け出資料)	
	② 商工会に新規創業の相談があり、業務を開始した年間件数(商工会資料)	
	③	
	④	

**2 指標等の推移**

指標名	単位	数値区分	前期基本計画					後期基本計画					
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
対象指標	A (RESASによる)市内企業数	社	見込み値				2,080	2,080	2,070	2,070	2,060	2,060	2,060
			実績値	2,216	2,091	2,091		2,091	2,091	2,091			
	B		見込み値										
			実績値										
	C		見込み値										
			実績値										
成果指標	① 誘致・規模拡大した企業数	社	目標値	-	-	-	-	-	7	7	7	7	7
			実績値	5	4	6	7	2	2	4	4		
	② 創業した数	件	目標値	-	-	-	-	-	15	17	19	21	23
			実績値	36	27	18	13	17	11	15	11		
	③		目標値										
			実績値										
	④		目標値										
			実績値										
目標設定の考え方・理由(可能性と必然性)													
① 成り行き値は、過去の平均を基に5社と設定。後期基本計画では、産業立地進出用地造成計画の見込みや、積極的な企業誘致活動による新たな企業の誘致を見込み、目標値を毎年度7社に設定した。													
② 成り行き値は、H30年度の実績値により設定。商工会へ新規創業の相談はあるものの、創業にした件数は減少している。後期基本計画では、産業構造の拡大、雇用の場の確保による経済効果の影響を視野に入れながら、目標値は毎年2件を加算し、R6年度に23件に設定した。													
③													
④													

**3 施策の役割分担**

①市民(市民、事業所、地域、団体)の役割(住民が自助でやるべきこと、地域やコミュニティが共助でやるべきこと、行政と協働でやるべきこと)	②行政(市、県、国)の役割(協働を進めるため市がやるべきこと、県がやるべきこと、国がやるべきこと)
<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所は地域への貢献、地元雇用への優先、環境への配慮に努める。</li> <li>市民(地域)は、立地企業の活動に対する地域ぐるみの理解と用地提供等の協力をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業と地域との調整(企業と地域の要望の把握と対応)、税の優遇措置、立地助成等の支援、環境整備(土地利用計画の策定、用途地域の規制緩和等)、用地の確保を行ない、企業が進出しやすい環境をつくる。</li> <li>山梨県や南アルプス市商工会との密な情報交換により、企業立地を推進し、産業振興に繋げる。</li> </ul>

**4 施策の状況変化・住民意見等 ※目標設定の前提とした後期基本計画策定時点の状況変化・住民意見等を記載しています。**

①施策を取り巻く状況変化(対象や根拠法令等は、今後(～R6年度末を見越して)どのように変化するか?)	②関係者からの意見・要望(この施策に対して住民(対象者、納税者、関係者)、議会からどんな意見や要望が寄せられているか?)
<ul style="list-style-type: none"> <li>中部横断自動車道の全線開通、リニア中央新幹線の開業により進出企業の増加が期待でき、交流人口の増加と共に地域経済活性化が見込まれる。特に、南アルプスインターチェンジ周辺については、将来的な交通の要衝として地域経済の活性化につながる産業の創出が必要になる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県外へ進学した大学生がUターンせず、市外へ流出していく傾向があり、人口対策・経済活性化策として企業等の誘致を推進し、雇用の場の確保を望む声がある。</li> <li>環境に配慮した企業立地を望む市民からの声がある。</li> <li>遊休農地の活用策について、企業向けの土地への提供などを望む意見がある中で、農地との利用調整が求められる。</li> <li>「企業と地元の調整機能の強化」「積極的な地元雇用と若者に魅力ある企業の誘致」が求められる。</li> </ul>

**5 予算等の推移**

※当初予算。骨格予算の年度は6月補正後

区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
関連事業本数	5	6	8	6	
関連事業予算額(単位:千円)	112,294	141,410	330,927	438,596	
国庫支出金	0	0	0	0	0
県支出金	0	6,200	0	0	0
地方債	0	0	0	239,800	
その他	55,000	55,900	275,343	20,898	
一般財源	57,294	79,310	55,584	177,898	

(1)目標達成度(目標値との比較)		※背景・要因と考えられること(根拠となる実績値、判断理由など)
<input type="checkbox"/> 目標より高い実績値だった <input type="checkbox"/> どちらかといえば目標より高い実績値だった <input type="checkbox"/> 目標どおりの実績値だった <input type="checkbox"/> どちらかといえば目標より低い実績値だった <input checked="" type="checkbox"/> 目標より低い実績値だった		成果指標①誘致・規模拡大した企業数については、目標値より3社少ない実績値であった。規模拡大などは景気の動向により左右される傾向があるため、景気が完全に改善していないと考えられる。なお、拡張整備中の工業団地に新たに誘致した企業が1社あり、倉庫業のため指標の測定方法としている工場立地法の届出は必要ないが、実績値に加えている。 成果指標②創業した数については、目標値より8件少ない実績値であった。創業は、景気の動向による部分が強く、コロナ禍が長期化し、景気が改善していないと考えられる。
(2)時系列比較(どのように変化してきたか)		※背景・要因と考えられること(根拠となる実績値、判断理由など)
<input type="checkbox"/> 成果がかなり向上した <input type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば向上した <input type="checkbox"/> 成果はほとんど変わらない(横ばい状態) <input checked="" type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば低下した <input type="checkbox"/> 成果がかなり低下した		成果指標①については、前年度と同数であった。景気はゆるやかな改善傾向にあるが、燃料費の高騰や資材価格上昇などにより設備投資などについては慎重姿勢が見られた。 成果指標②については、前年度に比べ4件少なかった。相談件数は増えているが、創業した数は昨年より減っている。物価の高騰などで先行きを見通せない状況のため慎重姿勢がうかがわれた。
(3)他団体比較(近隣他市、県・国との比較など)		※背景・要因と考えられること(根拠となる実績値、判断理由など)
<input type="checkbox"/> かなり高い成果水準である <input type="checkbox"/> どちらかといえば高い成果水準である <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ同水準である <input type="checkbox"/> どちらかといえば低い成果水準である <input type="checkbox"/> かなり低い成果水準である		2つの成果指標は、自治体により状況が異なるため比較が難しいが、成果指標①については、ものづくり企業成長投資事業費助成金により、企業の設備投資による規模拡大を支援している。また、成果指標②については、市商工会と連携して「個別型創業支援テキスト」を作成し、創業希望者に対する相談や支援を行い創業者の増加に繋げている。これらの市独自の支援策を行い成果もあるため、近隣他市に比べ引けは取らず同水準であると判断した。

7 基本計画期間における施策方針

(1)施策の基本方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>中部横断自動車道の全線開通やリニア中央新幹線の開業を見据え、優良な用地を確保し、積極的な企業誘致活動を展開する。</li> <li>意欲のある人が創業・起業を実現できるよう、商工会と連携して効果的な支援を行う。</li> <li>中部横断自動車道南アルプスインターチェンジ周辺については、新たな雇用の創出や地域経済を牽引する産業の集積を図り、交通環境を活かした新産業拠点を創出する。</li> </ul>

8 施策の目標達成のための基本事業の今年度(R5年度)の取組(事務事業)状況・今後の課題と次年度(R6年度)の方針

基本事業	今年度(R5)の取組(事務事業)状況及び今後の課題	次年度(R6)の方針
1 企業の新規進出・規模拡大の推進	下今諏訪工業団地の拡張整備は順調に進んでおり、今年度中の造成工事完了を目指す。分譲予定の4区画のうち3区画については、立地企業もほぼ決定している。課題は、企業の用地需要が多く、それに応える用地がないことが挙げられる。	引き続き工業団地の拡張整備を進め、立地企業への土地引き渡しを完了する。また、新たな工業用地拡張を検討する。
2 創業の推進	市と商工会で作成した「個別型創業支援テキスト」を活用し、商工会と連携を図りながら創業を支援する。また、今年度から、創業に要する経費の一部を補助する「創業支援補助金制度」を開始し、更なる創業を促進する。	商工会などと連携し、様々な側面から創業者支援に取り組み、事業者数や雇用を増加させる。
3 南アルプスインターチェンジ周辺開発の推進	<b>【新産業拠点整備事業】</b> 拠点事業エリアについて、許認可、用地取得、造成設計、企業との立地協定が終了し、敷地造成や道路整備に着手した。今後は、出店に係る立地手続や店舗建築を開始させるとともに、年度末までを目途に造成を完了し、各企業への土地の引渡しを行う。加えて、施設愛称やハブ拠点の検討を進めていく。	<b>【新産業拠点整備事業】</b> 地域交流施設の開業前(7月)までに地元との調整等を図り、看板設置及び安全対策を行う。又、年内を目途にコストコの開業、災害協定等の地域貢献策、企業への奨励金手続を進める。加えて、ハブ拠点への企業誘致を進める。
4		
5		